

小学生向け交通安全教育ドラマ

新しい自転車の交通ルール

まほうこく

魔法国からの使者



歩道通行可

二人乗りは禁止!

信号を守ろう!

ヘルメットをかぶろう!

夜はライトをつけよう!

交差点での安全確認



二人乗り



並んで走る



上映時間 15分
ビデオ・DVD 52,500円
(税込)

制作意図

自転車の関連する交通事故が増加傾向にあり全事故件数の約2割を占めています。

自転車利用の進展にもかかわらず、自転車専用の走行空間が十分でないことや、多くの自転車利用者が自転車の通行ルールを遵守していないことが理由だと考えられています。

本作品では、平成20年に施行された、新しい交通ルールを子どもたちにわかりやすく解説し、安全な自転車の利用方法を促進するために制作されました。

作品の内容

学校帰りに不思議な光の玉が空から落下するのを見る、祐司と剛と穂波。

三人はその光の玉を探しに行くことにする。

三人が車とぶつかりそうになった瞬間、光の玉が三人の前を横切り、事故から三人を救う。

光は魔法国からの使者に姿を変える。

魔法国からの使者は勇者の印を探すためにこの世界に来たことを三人に告げる。

祐司「ふ～ん、それで勇者の印を探してるんだ？」

剛「それって俺たちが見たやつじゃない？」

穂波「きっとそれよ！」

祐司「俺たちが案内するよ、一緒に行こう」

□自転車に乗る準備(ヘルメット・目立つ服装)

三人は、自転車に乗りかける。

使者「まって、みんなヘルメットは？」

祐司「ヘルメット？」

使者「転んだときや、ぶつかったときに、ヘルメットは頭を保護してくれるんだよ」

使者「あと、自転車に乗るときは、もっと目立つ服の方がいいね」

□歩道通行のルール

使者「新しい法律で、13歳までの子どもは歩道を通っていいことになったんだ。でも、歩道を通るのには、守らなければならないルールがあるんだ」

剛「ルール？」

使者「まず、いつでも停まれるくらいの、ゆっくりしたスピードで走るんだ」

例1 スピードの遅い走行

使者「歩いている人が多いときは、自転車を降りて押して歩くんだよ」

例2 自転車を押す子ども

使者「歩道はもともと歩く人のための道なんだ、そこを自転車で通るときは、歩いている人にぶつかったり、じゃまになってはいけないよ」

□信号のある交差点。横断歩道

使者「自転車も信号を守らないといけないよ」

三人「は～い」

使者「こうした自転車のマークがある自転車横断帯があるときは、そこを通るのが決まりなんだよ」

例4 自転車横断帯を渡る自転車

使者「自転車横断帯がないときは、横断歩道を自転車を押して歩こう」

例5 横断歩道を自転車を押して歩く

使者「横断歩道も歩く人たちの場所なんだよ」

□信号のない交差点(止まれの標識・安全確認)

壁が透視されて、乗用車が走ってくるのが見える。

使者「停まって！」

三人のすぐ前を乗用車が通過する。

穂波「ふ～あぶなかった」

使者「このマークが何か分かる？」

使者が止まれの標識をさす。

三人「停まれ？」

使者「そう、止まれのマークだよ。この標識があるところでは自転車も止まらなきゃいけないんだ」

三人「は～い」

使者「あと、停まるだけじゃなくて、向こうから人や車や他の自転車が来ないかを確認しなきゃね」

□並走と二人乗りの禁止

祐司と剛が並んで走る。

使者「二人で並んで走ってはダメ」

祐司「何で？」

使者「歩道に広がって走ると他の人に迷惑がかかるよそれにおしゃべりに夢中になって事故を起こしやすくなるからだよ」

剛「そうか」

使者「二人乗りも禁止だよ。二人乗りは、バランスを崩しやすいから、倒れたり他の人にぶつかったりするから危険なんだ」

イラスト4

使者「夜は必ずライトを付けよう」

□まとめ

防波堤にやってくる三人と使者。

使者「勇者の印は、君たちもみんなが持ってるんだ」

祐司「僕たちが？」

使者「歩道を自転車でおるときは、歩行者に迷惑をかけない《思いやりの心》」

使者「信号やルールを守る《誠実な心》」

使者「そして、危険を予測する《知能》」

祐司「・・・分かった！それが勇者の印だ」

使者「その通り！ぼくは、ちゃんと君たちの中に勇者の印を見つけたよ」

使者は、徐々に光に包まれて大きな光の玉になる。

光の玉は一瞬輝くと、空の彼方に飛んでいく。

祐司の目には、決意の光がある。

北辰映像株式会社

埼玉県さいたま市緑区三室2190-2 〒336-0911

電話048-810-5277

Fax048-876-2955